We Are Astra!

～ 長野県の明日を切り拓くトラベラーズ ～

長野県教育委員会

１．目　的

県内の経済、産業、教育等を支える各種団体と協力し、長野県で活躍したいと考えている児童生徒が仲間と共に長野県や海外について体験的に幅広く学ぶ機会を提供することを通して、グローバルな視点から長野県の魅力や新しい可能性を見出す等の課題を発見・解決する力を身に付けた、長野県の明日を切り拓く担い手を育成することを目的とする。

２．現状と課題

長野県の児童生徒は、全国と比較して「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考えている割合が高い。（全国学力・学習状況調査）そうした児童生徒にとって、海外研修等を通じて県内企業の活躍を目の当たりにしたり、長野県ならではの自然を生かした仕事や最先端技術について学んだりすることは、将来の選択肢を広げる大きな機会となる。そのため、県内企業や国外企業、民間団体、関係機関と連携しながら、児童生徒の学びの場を創出していく必要がある。

３．事業内容

(1) 年間プログラム（各行事）の計画・運営

県内・海外企業、民間団体や関係機関等と連携し、小中学生が多様な活動を通じて社会で活躍する大人等と交流し、長野県のよさや課題について学び考える機会を提供する各種行事を計画・運営する。

(2) プログラムの全体概要

次の３つの観点から、年間プログラム（各行事）を設定

【Ⅰ グローバルな視点】
- 世界の中の長野県という視点
- 社会的・国際的な問題についての理解

×

【Ⅱ 問題発見・解決能力】
- スキルの習得
- 課題を見出し分析、解決策の考案
- 計画し実行する力

×

【Ⅲ コミュニケーション能力】
- 国際的な場面でも積極的に英語等を用いてコミュニケーションを取ることができる力、取ろうとする態度

例えば、次のような活動を行う。
- 経済や産業、農業・林業等、長野県ならではの、自然を生かした仕事について五感を使って学ぶ
- 実際に海外に赴き、英語等を用いてインタビューやディスカッションを行うことで、コミュニケーションについて学ぶ

(3) プログラム参加者について

①将来長野県で活躍しようと考えている小学校５年生から中学校２年生 15 名を選抜
②長野県の地域への興味・関心をもち、地域の活性化のために貢献する意欲がある人
③国内外を問わずインタビューしたりやり取りしたりするためのツールとして、英語等の外国語を学ぶ意欲がある人
④全ての参加者が安心して学び合える場を大切にできる人
⑤予定されている全てのプログラムに参加可能な人

We Are Astra! 第1回実行委員会

日時：令和7年（2025年）5月29日（木）
10:00～11:30
場所：長野県庁8階教育委員会室

【名誉会長　阿部知事挨拶】

・人材育成は長野県の未来に関わる最重要課題。今、教育の変革が求められている。
・多様な分野の方々が集まっていること自体が画期的。新たな人材育成の仕組みづくりに協力いただき、「学びの県づくり」を共に進めていきたい。

【ディスカッションの主な意見】

① 地域に根ざした学びと資源の活用
・地域とのつながりを感じ「ふるさと観」を醸成できるようなプログラムにしたい
・産学官が連携し、地域資源を十分に活用したい

② 将来の生き方・職業観の育成
・「将来の夢＝職業」ではなく、「どう生きたいか」を考える体験を提供したい

③ 国際感覚と語学教育
・柔軟な思考を持つ子どものうちに、リアルな体験を通じて英語を学ばせたい

④ プログラムの設計と運営
・公平性と持続性のあるプログラム設計が必要
・参加者の主体性と異年齢交流を大事にしたプログラムにしたい
・持続可能な事業にするための資金はどうするか

⑤ 教員の役割と学びの支援
・教員にもプログラムに参加してほしい

⑥ 発信の機会
・体験した内容を県内の子どもや教職員、地域の方に紹介する機会が必要

【武田教育長挨拶】

・「先が見えない時代」を作ったのは大人。子どもたちに責任を押し付けるのではなく、何を残せるかを考えることが大切。
・大人ができることを精一杯行うことが、子どもたちへの最大の贈り物になる。